

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	虐待防止事業（高齢者）			事業番号	18-102-2
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部	小林 幹夫	介護高齢課高齢者支援担当	志村 政昭	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち		
		基本政策	5	暮らしの安心がひろがるまちづくり		
		施策展開の方向	2	一人ひとりが大切にされるまちをつくる		
		施策	18	互いに尊重し合うまちづくりの推進		
予算事業名	包括的支援事業費(一部)		任意事業費(一部)			
事務区分〔選択〕	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ			
事業開始年度	開始年度	平成15年度 ~		終了年度	-	
関連法令等	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律、老人福祉法					
国・県の計画等	第6期かながわ高齢者保健福祉計画		計画期間	平成27年度～29年度		
関連個別計画	第6期伊勢原市高齢者保健福祉計画		計画期間	平成27年度～29年度		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	高齢者に対する虐待が深刻な状況にあり、高齢者の尊厳の保持にとって高齢者に対する虐待を未然に防止することが極めて重要となっています。					
目的 (何をどうしたいのか)	高齢者に対する虐待を未然に防止し、高齢者の尊厳を保持するとともに、養護者の負担軽減を図り、養護者支援を行います。					
主な対象 (誰・何を対象に)	65歳以上の者					
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 虐待の防止、早期発見、早期対応など適切な対応に向けた普及啓発を行います。 伊勢原市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク会議を実施し、関係機関との連携強化を図ります。 					
事業行程	項目	年度				
		28年度	29年度			
	研修会の開催	継続実施	継続実施			
	虐待防止ネットワーク会議	継続実施	継続実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度			
			28年度	29年度		
	高齢者虐待防止研修会等参加者数	145人	150人	150人		

 事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	高齢者への虐待の発生予防及び早期発見・早期対応に向け、高齢者虐待防止ネットワークを中心に関係機関と連携するとともに、実務担当者会議を活用して関係者のスキルアップを図ります。また、広く一般市民に対する啓発及び関係職員を対象とした研修会を引き続き実施します。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容 各地域包括支援センターと連携して実施	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	研修会の開催	継続実施	継続実施	
	虐待防止ネットワーク会議	継続実施	継続実施	
実施した取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の未然防止に向け、虐待防止ネットワーク会議、実務担当者会議の開催、市民への啓発、関係職員を対象とする研修会を実施しました。 ・また、個々の虐待ケースに、関係機関と連携して対応を図りました。 			
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	高齢者虐待防止研修会等参加者数	145人	461人	472人

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		375	千円	443	千円				
内訳	国県支出金 ①	219	千円	259	千円				
	地方債 ②	0	千円	0	千円				
	その他特財 ③	156	千円	184	千円				
	一般財源 (a)-①-②-③	0	千円	0	千円				
国県支出金の内容		地域支援事業・包括的支援事業・任意事業の費用負担(国39%、県19.5%、市19.5%、第1号被保険料22%)							
コスト	その他特財の内容	受益者負担 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期					
	その他								
人件費	正規職員	0.08	人	692	千円	0.08	人	698	千円
	その他の職員	0.12	人	292	千円	0.12	人	290	千円
	人件費合計 (b)	0.20	人	984	千円	0.20	人	988	千円
トータルコスト (a)+(b)		1,359	千円	1,431	千円				
単位当たりコスト	対象数	定義		65歳以上の市民		定義		65歳以上の市民	
		対象数		24,400	人	対象数		25,068	人
		総事業費 / 対象数		56	円	総事業費 / 対象数		57	円

評価 (Check)へ

評 価 (Check)

<p>進捗状況 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)</p>	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>高齢者虐待の未然防止及びその対応に向け、市民への啓発活動をはじめ、虐待防止ネットワーク会議や研修会等を開催し、関係機関との連携の強化、職員の資質の向上を図りました。また、虐待対応では、初動会議の速やかな開催など、関係機関と連携し、適切な対応を図りました。</p>
<p>実施水準 〔選択・記入〕</p>	<p><input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業</p>	<p align="center">B</p>	<p>他都市の事業内容等</p>	<p>高齢者虐待の未然防止に向け、虐待防止ネットワーク会議などを開催するなど、関係機関と連携して対応しています。また、虐待が発生した場合は、虐待対応マニュアルに基づき、関係機関が連携して適切に対応しています。</p>
<p>有効性 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)</p>	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>高齢者虐待の未然防止等に向け、市民への理解を促進するとともに、ケース対応など、関係機関と連携して対応を図ることができました。</p>
<p>効率性 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)</p>	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>地域の様々な機関が虐待防止ネットワーク会議などを通して、情報を共有するとともに、連携することで、虐待発生時の速やかな対応をはじめ、虐待の未然防止につながっています。</p>

 取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)

<p>事業推進上の課題</p>	<p>地域における虐待の早期発見、未然防止に向けた市民への普及啓発をはじめ、虐待防止ネットワーク会議などを通して、関係機関の連携の強化、関係者の資質の向上を引き続き図ることが必要です。</p>
<p>次年度以降の取組の方向性</p>	<p>高齢者虐待の未然防止、早期発見、早期対応に向け、虐待防止ネットワーク会議を中心に、関係機関による連携を強化します。また、実務担当者会議、研修会を通して、関係者のスキルアップを図るとともに、市民向けの啓発活動を行い、虐待防止に関する理解を促進します。</p>
<p>所管部長による総評</p>	<p>市民の皆さんが安全に安心して生活する中で、虐待は、絶対にあってはならないことから、関係機関と連携を図りながら、虐待防止に向けた取組を継続して実施することが必要です。</p>